

経営比較分析表（令和元年度決算）

静岡県森町 公立森町病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	13	対象	ド訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
18,243	9,766	非該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

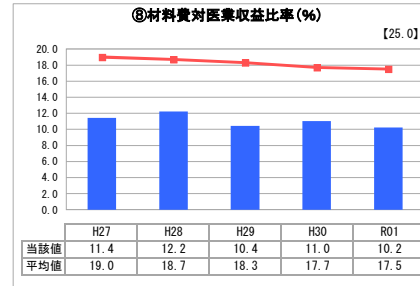
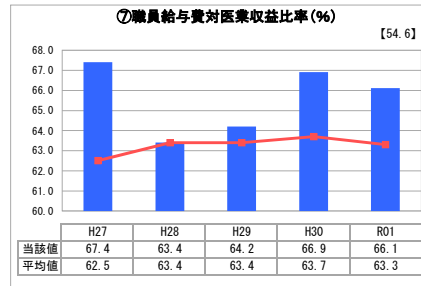
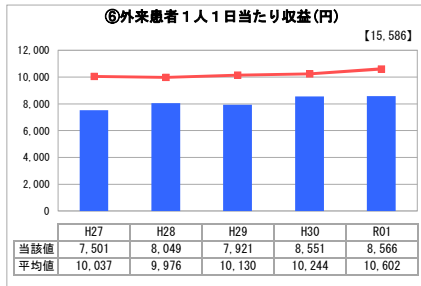
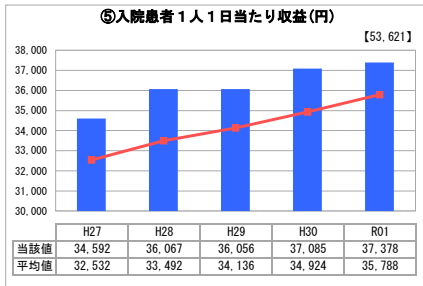
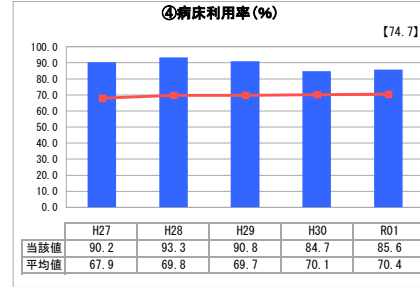
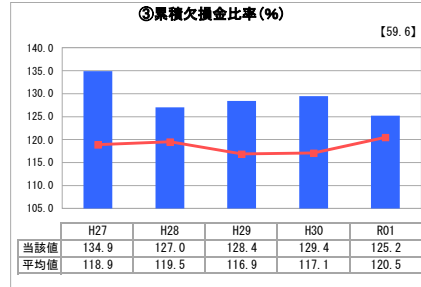
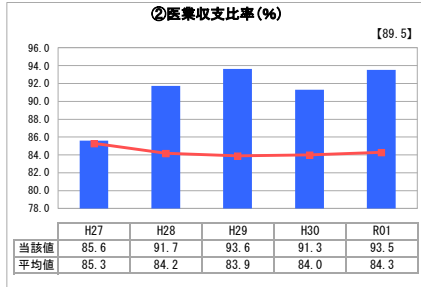
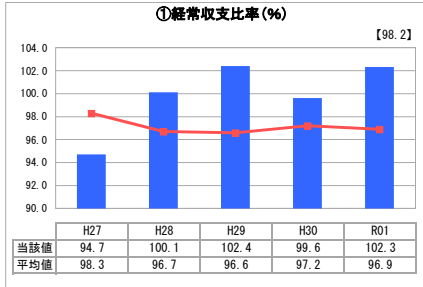
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
131	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	131
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
131	-	131

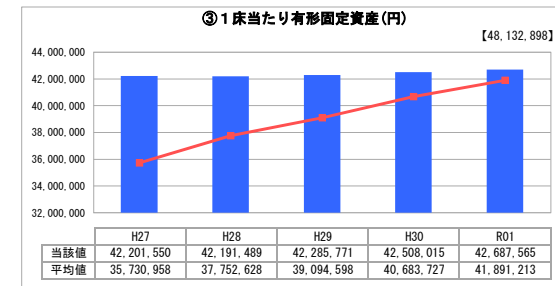
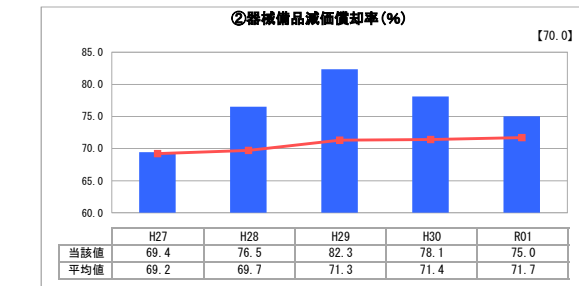
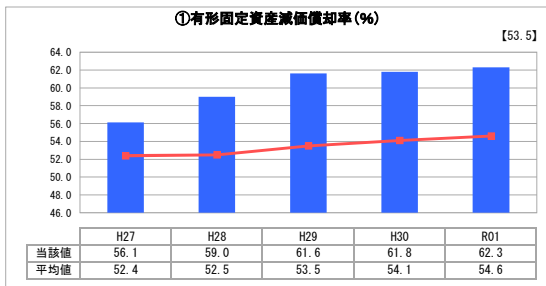
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

森町は、歯科以外の民間の開業医院が6診療所と少なく、森町病院と併設する森町家庭医療クリニックで、外来医療、在宅医療を担っている。また、町内唯一の病院として、一般急性期から回復期までの入院医療と二次救急医療を担い、地域密着型の医療を展開している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

森町病院は、3つの一般急性期病棟としてスタートしたが、平成21年にそのうちの1つを回復期リハビリテーション病棟とした。その後、診療報酬の改定で地域包括ケア病棟ができたことから、平成25年1月に急性期病棟の中に地域包括ケア病床3床を導入し、徐々に病床数を増し、平成28年3月には地域包括ケア病棟とし、3つの病棟を機能別（一般急性期、地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟）に再編した。

その結果、患者のニーズに応えることで、病床稼働率を高め収益の確保を図った。

また、委託料等の経費削減や人員の適正化に努め、医業収支比率を改善することができた。

ただし、累積欠損金比率については、過去に経営状況が厳しい年が続いたため高い比率となっている。また、外来患者1人1日当たりの単価については、遠新治療がないことや非常勤診療科等単価の低い部門も加味されているため、低く推移している。

2. 老朽化の状況について

平成9年に建設され、建設後23年が経過したことから、建物、設備等に更新が必要な箇所が出てきている。計画的にこまめな部品交換、建物、設備の定期的なメンテナンスを行うことで長寿命を図っている。

全体総括

令和元年度は、第4次経営改革プランの3年目であり、病棟の安定的運営、経費の適正化など経営の効率化と目標達成に向けて取り組みを行った。

病棟については、平成28年3月に病棟再編により3つの病棟をそれぞれ機能別に分化し、一般急性期病棟、地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟とした。この3つの病棟を患者の病状と入院目的により機能させ、ベッドコントロール会議を毎週行い、効率的な病棟運営に努めてきた。また、地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟については、リハビリテーションを充実させるなど、在宅復帰に向けた退院支援を強化してきた。その結果、令和元年度については、入院患者数は、全体としては前年度を上回る結果となった。

森町病院が位置する中東エリアは、機能分化と連携を積極的に進めてきた地域であり、今後も地域医療連携調整会議の中で方向性等について協議を進めていく。